

## 経済事業の刷新に向けて（中間とりまとめ）

平成 14 年 6 月 21 日

経済事業刷新委員会

## はじめに

本委員会は、消費者から信頼され、生産者の負託に応える経済事業の刷新をはかるため、①JAグループにおける食品表示に関する自主点検・検証の実施、②経済事業システムの刷新方策、③国産農産物の安心・安全システムの展開について、検討を付託され、これまで4回にわたって委員会を開催してきた。

今回の問題は単なる偽装表示の問題ではなく、日本農業の信頼性を損なう問題であるとの認識が必要である。失われた信頼を回復するには、改善に向けた諸対策に取り組むとともに、情報の公開、消費者と直結した事業運営および役職員の意識改革の徹底などの経済事業構造や組織・ガバナンスの刷新が不可欠である。

委員会では経済事業の刷新に向けた具体策として、①消費者に信頼される経済事業システムの刷新方策、②経済事業の構造や組織・ガバナンスについて、10項目の課題について検討し、その方向性を整理した。JAグループとして本とりまとめに基づき、早急に経済事業の刷新に向けた実践に取り組みたい。

JAグループは危機を風化させず、危機をバネにした取り組みが必要である。

付託事項にある「経済事業の構造や組織・ガバナンス」については十分な検討ができていないが、今回は「消費者に信頼される経済事業システムの刷新方策」を中心に中間とりまとめを行い、残された課題については引き続き検討する必要がある。

なお、JAグループが実施した食品表示等に関する自主点検については、一定評価できるものとなっているが、公表方法等については課題の残るものとなっている。

## 【消費者に信頼される経済事業システムの刷新方策について】

- ① 産地偽装や優良誤認について
- ② 表示制度について
- ③ 消費者相談窓口について
- ④ 加工・流通段階における安全・安心の確保について
- ⑤ 消費者と連携した地域での営農・販売の取り組みについて
- ⑥ トレーサビリティを中心とした安全・安心システムの展開について
- ⑦ 食品の安全・安心についての考え方について

【経済事業の構造や組織・ガバナンスについて】

- ⑧ 経済事業の意識構造の変革について
- ⑨ 経済事業におけるガバナンスのあり方について
- ⑩ 経済事業における危機管理・法令遵守について

【消費者に信頼される経済事業システムの刷新方策について】

1. 産地偽装や優良誤認について

- ・ 現在の食品表示については、消費者の立場に立った基準がなく、売らんがための表示となっており、原産国（地）の偽装や、優良誤認を招くような表示が多くなされている。
- ・ 原産国（地）については、消費者の関心も高くなっており、JAグループとして虚偽表示については自主的にペナルティを課す等の取り組みが必要である。
- ・ また、産地の確認については、現在、外箱、包装、伝票等のそれぞれが工夫して対応しているが、統一基準を作るなど第三者がチェックできるシステムを早急に構築する必要がある
- ・ 優良誤認を引き起こすような商品表示については、JAグループとしても独自の基準が必要である。

2. 表示制度について

- ・ 表示制度については、消費者や受け入れ側がどのような情報を必要としているかという視点から考えるべきである。
- ・ 現在の表示制度は複雑になっており、現場のJA等に対応できない場合もある。このため、JAグループとして表示に関する自主的な相談機関等の設置をはかるべきである。
- ・ 表示制度の見直しにあたっては、現場での対応可能性等について提言機能を発揮すべきである。
- ・ 品質表示については欧米並みの検証システムを検討する必要がある。一方で検証システムについては、大規模な広域流通と地場流通を分けて考える必要がある。
- ・ 生産者と消費者の信頼構築のためには、消費者モニターによる検証等が必要であり、これを具体化するため生産者・消費者による「食と農の安全・安心委員会」

を全JAに設置する等の取り組みが必要である。

### 3. 消費者相談窓口について

- ・ JAグループが消費者重視となっていない要因として、消費者等からのクレームを事業に活かしていく仕組みが不十分であることがあげられる。
- ・ このため、「消費者相談窓口」充実等の取り組みが必要であるが、単に窓口を作るだけでなく、それをJAグループの実践的な取り組みとしていくことが必要である。
- ・ また、消費者は要望・苦情を言う権利を有しており、これを吸い上げ事業として反映することは必要不可欠なものであるとの認識を持つべきである。
- ・ あわせて、農業理解のための消費者への情報提供や子どもたちへの食農教育等に取り組む必要がある。

### 4. 加工・流通段階における安全・安心の確保について

- ・ 今回の一連の問題は加工・流通段階で生じており、加工・流通段階において産地偽装等は生産者・消費者へのとり返しのつかない裏切り行為である。
- ・ 加工・流通段階の品質管理のため HACCP（危険度分析による衛生管理）や ISO9001（品質管理の国際規格）の取得をする必要があるが、これらの取得が困難な小規模施設等についても、品質管理の向上に向けた教育・研修をはかることが必要である。
- ・ 加工・流通を担うJAグループとして、その使命や「安全」について、役職員が十分認識する必要がある

### 5. 消費者と連携した地域での営農・販売の取り組みについて

- ・ 地域農業が自立・連携する中で消費者と共生していくことが重要である。
- ・ 小ロットの流通については、地域と消費者の関係が重要でありそれを通じて地域農業がどう変わるかが重要である。
- ・ 地域が変わっていくためには、営農指導員の意識の転換が必要である。
- ・ 特に消費者の関心の高い残留農薬問題については、JAグループとして農薬の散布基準の設定とその遵守等により安全の徹底に取り組む必要がある。

- ・ また、地域ごとの農薬散布基準等の設定・公表や、海外の情報を含めて収集・蓄積をすすめるべきである。

## 6. トレーサビリティ（生産・加工・流通過程の遡及可能性）を中心とした安全・安心システムの展開について

- ・ トレーサビリティについては、消費者における「安心」の保証、流通・生産者における危機管理の観点からも導入が必要である。

- ・ トレーサビリティシステムの導入については、相当の投資と運用コストが必要となり、危険度の高い部分から選択的に取り入れていくべきである。

- ・ JAグループとして信頼されるシステム作りを進める観点から、生産過程の遡及が容易な流通（ファーマーズマーケット等）をすすめるとともに、農業生産工程の記録・データ化をすすめるべきである。

- ・ トレーサビリティシステムは手段・手法であり、それが安全を担保するものでもない。安全を担保する生産・流通のあり方を日本農業全体の取り組みとして考える必要がある。

## 7. 食品の安全・安心についての考え方について

- ・ 「安全」は食品については基本事項である。一方、「安全」は相対的なものでありそれに伴うコストをどのようにするかが課題である。

- ・ 「安全」とりわけ基準内での農薬散布や環境負荷の少ない農薬への転換等については、生産者と消費者に認識のギャップがあり、信頼関係を構築する中でこれらの解消をはかる必要がある。

- ・ 安全・安心については、単に表示やトレーサビリティの問題ではなく、農薬・化学肥料の投入抑制や地域循環といった日本農業全体のあり方の問題として考えるべきである。

- ・ その上で、国内農業の役割や農産物が工業製品の様に一律的な仕様とならないことについて、JAグループとして消費者にPRする必要がある。

### 【経済事業の構造や組織・ガバナンスについて】

## 8. 経済事業における意識構造の変革について

- ・ JAグループ経済事業の本質的な役割は、生産者の協同化を通じて流通の効率化をはかるとともに、消費者ニーズを把握しそれを生産につなぐことである。

- ・ しかし、現実には中間流通の位置付けが強く、消費者の方向を見る視点や生産現場主義が欠如しており、両者を隔てるような体質となっている。

- ・ このような体質を刷新するためには、経済事業における事業構造や組織のあり方を抜本的に見直す必要があり、特に a.情報の公開、b.第三者による評価制度、c.消費者と直結した運営をすすめる必要がある。

- ・ どこかのJAが問題を起こした場合、全てのJA・生産者が消費者から疑われることとなる。このような認識のもと、全てのJAが危機意識を持ってこの問題に取り組むべきである。

#### 9. 経済事業における経営管理のあり方について

- ・ 経済事業で多様な子会社を営んでいるが、どのような意味を持つか再考し、管理の方法を見直す必要がある。

#### 10. 経済事業における危機管理・法令遵守について

- ・ 役職員の法令遵守は、調査報告・自主点検の中で認識の欠如等が問題となっている。

- ・ 実践的な教育・研修を通じて法令遵守の態勢をつくる必要がある。

- ・ 農産物の偽装表示の場合、消費者には見分けがつかない。このため、消費者保護の観点からは、JAグループが健全な情報開示の姿勢を持ち、そのような職場風土や文化を創設することが重要である。

- ・ コンプライアンス（法令遵守）の徹底の中で、取引先との契約、とりわけ特定農産物の需給不均衡に伴う欠品問題についても適切に対応すべきである。

以上